

市民の皆様、新年おめでとうございます。

年頭にあたり、市議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年はようやくアフターコロナのときを迎え、私たちの日常も以前の姿に戻りつつあります。堺市各地においても、これまで中止されていたイベントやお祭りが再開し、賑わいや活気あふれる光景を久しぶりに目にされ、地域のつながりの大切さを再認識された方も多いかったと思います。

特に、昨年7月には「堺大魚夜市」が4年ぶりに大浜公園で開催され、10月には第50回という節目を迎えた「堺まつり」が盛大に開催されました。

また、同10月には「G7大阪・堺貿易大臣会合」が開催されました。歓迎レセプションでは、堺が歴史的に日本最大の貿易都市であったことをアピールするオープニング映像、「ふとん太鼓」の実演、「茶の湯」体験など、堺が誇る伝統文化に触れていただく、また世界に発信するまたとない機会となり、成功裏のうちに終えることができました。

一方で、急激な物価高騰や今後更に進む人口減少、少子化・高齢化など、取り組むべき社会課題が目の前に存在します。南大阪を代表する政令指定都市「堺」がこれら様々な社会課題に対し、どのように取り組み、成果を上げていくのかが重要と考えています。

堺市議会は議会の改革を更に進め、真摯（しんし）に議論しながら市民の皆様のご付託にこたえ、堺のまちがますます発展し、暮らしやすい都市であるようにしっかりと審議してまいります。

結びに、この新しい年が、皆様にとりまして、笑顔のあふれる素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げます。

堺市議会議長 的場 慎一